



東京都立多摩桜の丘学園学校だより

さくらちゃん News



令和5年9月15日発行 第7号
多摩市聖ヶ丘1-17-1
電話 042-374-8111
発行者 校長 丹野 哲也

実りの秋 学びの過程を大切に

校長 丹野 哲也

残暑厳しい日が続いています。夏季休業期間中には、進路相談などへの御協力をいただき本当にありがとうございました。

2学期の始業式は、体育館にて部門ごとに実施しました。学期がスタートするにあたり、全校の児童・生徒には、「心をこめて、笑顔で、やりとげよう！！」ということを校長からのメッセージとしてお伝えしました。

今学期は、日々の学習に加えて、宿泊を伴う行事やさくら祭などの文化的行事などが予定されています。多岐にわたる学習、学校生活の中で、「心（気持ち）」をこめて、一生懸命に取り組み、「嫌だな、大変だな」と思ったり、感じたりしたときこそ、「笑顔で」最後までやり遂げようという意味です。

児童・生徒が、集中して物事に取り組む姿や精一杯に頑張り、最後まで取り組もうとする姿などは、学習の過程に表れるものです。

本校では、この学習の過程を大事にしていきたいと考えています。そのため、「できた」「できない」という択一的な捉え方ではなく、「もう少しでできそう」「気付いていた」「考えていた」など、児童・生徒の学ぶ姿をきめ細かく把握し、児童・生徒のもてる可能性を十分に踏まえながら、学習を進めていきます。このことは、児童・生徒の学習意欲の向上や、自信や自己肯定感などの伸長につながります。これらのことを大切にして2学期取り組んでいきます。

○島田分教室での始業式

9月1日の午後、分教室での始業式が、島田療育センターの丸山療育長を始めとする関係の皆様が同席のもと、行われました。夏季休業期間中に毎日取り組んだ天気調べや読書活動の様子などについて、一人一人の発表がありました。生徒の頑張った様子に、参観者から大きな拍手がおきました。



○読書の秋～図書室・図書コーナー 改装進行中～

夏季休業期間中に、2階の図書室と1階の図書コーナーのリニューアルをしました。ポイントは、

- ・本の内容が分かるように、表紙が分かるように配置
- ・車いすの児童・生徒が本を選びやすくする

の2点です。

児童・生徒が本を選びやすくなるよう、床面に近い棚には図書を置かないようにしました。絵本などの表紙が分かるように配置工夫をしています。



御来校された際に、お立ち寄りください。